

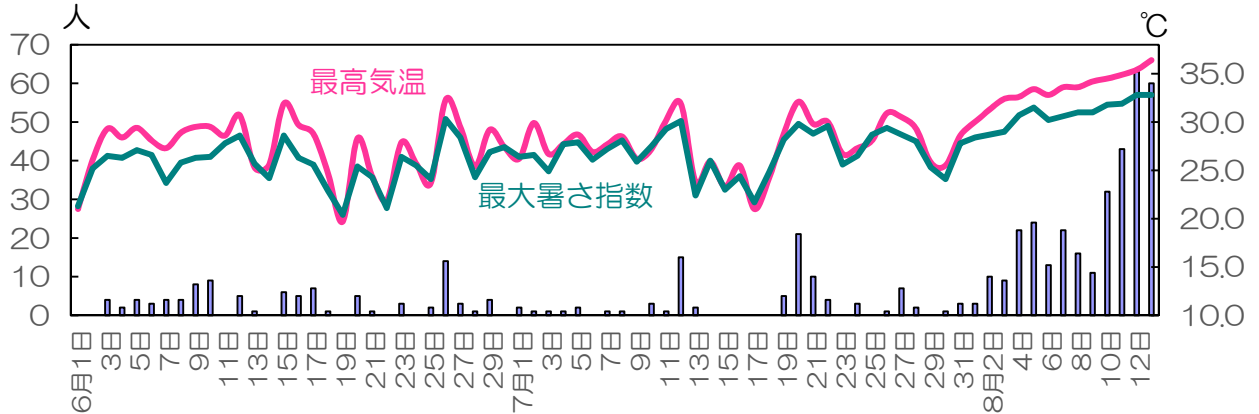
熱中症情報

<搬送数>

令和2年5月1日～8月13日までの搬送数（消防局データを使用）は、計535人（5月24人、6月96人、7月87人、8月328人）でした。8月10日からは、最高気温が34.5℃以上で、搬送数が急増しています。特に8月12・13日は猛暑日（最高気温が35℃以上）で、搬送数も60人/日以上と多かったです。

8月7日からは、「熱中症警戒アラート」が発表されるなどの猛烈な暑さになっています。こまめに水分を取り、外出はなるべく避け、適切に冷房を使用するなど、暑さから身を守りましょう。

また、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大しています。『新しい生活様式』を実践し、感染症予防とともに、これまで以上に熱中症予防（屋外で人と2m以上離れている時は、マスクを外すなど）にも心掛けましょう。



暑さ指数とは？ 人間の熱バランスに影響の大きい①湿度 ②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境 ③気温の3つを取り入れた温度の指標 詳細は「環境省熱中症予防情報サイト [暑さ指数\(WBGT\)とは？](#)」をご覧ください。

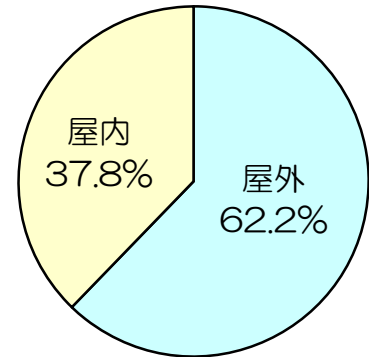
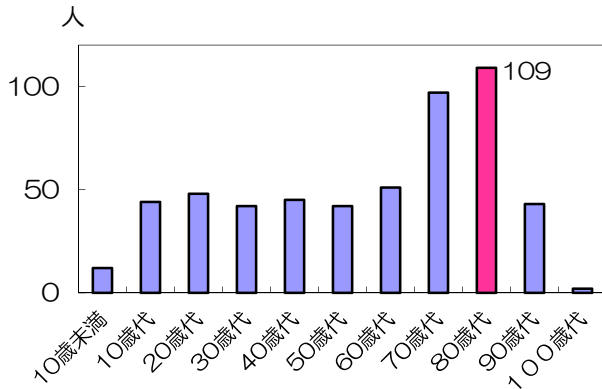
以下のグラフのデータは、5月1日からの累積搬送数です。

<年齢別>

年齢別では、80歳代が109人と、最も多く、20.4%でした。

<発生場所>

屋外62.2%、屋内37.8%で、屋外での発生が多くなっています。



<重症度>

軽症53.6%、中等症40.1%、重症5.1%、重篤1.3%でした。高齢者（65歳以上）の重症の割合が高くなっており、高齢になると重症化の傾向が伺えます。

